

平成28年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ



甲斐市立竜王小学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語、算数において、「知識」をみるA問題と「活用」をみるB問題ともに正答率が高くなり学力の上昇傾向が見られました。基礎基本の定着を図り、計画的な板書やノート指導などの学習規律を揃えることや、わかりやすい授業を目指した継続的な取り組みの成果が表れました。
- ・国語では、ローマ字の読み書きに課題が見られましたが、平均正答率は、A問題では全国とほぼ同程度でした。外国語活動との連携を図りながら、繰り返し読んだり書いたりする機会を増やしていきます。B問題では全国の平均を大きく上回り、読解力などの能力の向上がみられました。
- ・算数の平均正答率は、A問題では全国平均を大きく上回り、計算などの基礎的内容が定着し、問題解決型学習の成果が見られました。B問題も論理的な説明をすることに課題が見られましたが、全国平均を上回り、問題解決能力の向上が図られています。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

・よい傾向がみとめられる項目

学習することの大切を感じている児童の割合が高く、意欲的に学習に参加している傾向が見られました。また、学習したことが今後の社会で活用されることの重要性について、しっかりと認識していることが分かりました。学級会や総合的な学習の時間を通して、自分の意見を発表するなどの学習をしっかりと取り組んでいる児童が多くみられ、仲間との話し合い活動を大事にしている様子が分かりました。

・課題となる項目

家庭学習では宿題をしっかりとやりとげる児童は多いのですが、計画的な学習や予習などについては、まだ少ない傾向にありました。また、テレビ、ゲーム、携帯電話などを長い時間している児童の割合が高いところも経年的な課題です。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・6年生で向上してきた、常に相手を意識した自分の意見や理由などが明確になるような「書く」「話す」学習を、昼休みの「お話タイム」の放送を通して全校に広げていきます。また、低学年からの作文活動や調べ学習等で自分の考えを書くことを行い、「書くこと」に慣れ親しむ環境を作り出していきます。
- ・問題場面を言葉や数、図などを使って式に表し、筋道を立てて考えたり話し合ったり出来るよう、問題解決型の学習をさらに推し進めていきます。問題を解いていくための根拠や理由を明確にし、結論まで丁寧に説明できるよう力を育成していきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・各家庭に配布した「家庭学習の手引き」をもとに、家庭学習への取組をより一層深められるようご協力下さい。生活リズムを整え、テレビやゲーム、携帯電話等の使用に際しては、保護者とよく話し合いをしてルールを徹底させましょう。親子で読書に取り組み、同じ本の感想を伝え合ったり、内容を共有したりして、児童の読書活動に対する興味関心を高めていけるよう心がけましょう。